

各市町村の枠を超えた全県での広域連携による 「物味湯産手形 全県版」を軸とした誘客キャンペーン事業

取組に至る背景・事業の目的

「物味湯産手形」は、平成 22 年の信州デスティネーションキャンペーン期間を中心に広域の誘客・告知素材として考案された。旅の基本要素である見物、味覚、湯めぐり、土産を網羅した観光手形であり、平成 24 年度は南信州エリアを対象としていたが、平成 25 年度からは(社)長野県観光協会と連携することでエリアを拡大し、「全県版」として発行することとなった。

無料入浴や割引・特典が受けられる観光手形により、新規顧客の開拓、県外観光客のリピート化の促進、県内流動の活性化、市町村の枠を超えた広域連携を図る。

事業内容

物味湯産手形参画施設、各市町村の公共施設、県内外の観光案内所等を活用することにより、広範囲にわたり効果的で有効な告知・誘客活動を展開した。

また、電子媒体を活用することでリアルタイムな情報を提供した。

- 物味湯産手形（全県版）の作成
- 長野県全域MAPの作成、改修
- パンフレット及びポスターの作成
- 専用Webサイトの改修



【物味湯産手形と長野県全域MAP】

事業効果

- 広域連携により、広範囲でポスターの掲示やパンフレットの配布が可能となり、効率的な情報発信ができた。また、各地域の方面別顧客特性をシャッフルでき、当地域を全く知らなかった新しい観光客や地元客にお互いに新たにアプローチが可能になった。
- 長い有効期間や広い汎用性もあり、地域リピート、滞在時間の拡大、地域内循環、地域間交流への素材となった。
- 観光客増加を図ることにより産業振興、雇用拡大につながった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

県内各地域の参画ができ、県民への周知が図れたことで、今後はさらに多くの施設の参画を促していく。また、発行部数を増やし、落ち込んだ観光客数の回復と誘客促進を図る。併せて、訪れた観光客の満足度向上を図るための事業を展開していく。

「物味湯産手形」をひとつのアイテムとして広域的な連携を組むことで、全県各地域にて広域的な誘客キャンペーンを行い、リピーター客の増加・連携強化対策、滞在エリア・滞在時間の拡大策等を図っていく。

【選定のポイント】

南信エリアでスタートした「物味湯産手形」が県内の多くの温泉、観光関係者などに高く評価され長野県全体版に拡大した。その誘客効果は県内全域、県外へより大きなものとなり、周遊範囲の拡大、滞在期間の増加、リピーターの確保など、大きな効果が期待できる。

団体名	南信州観光連携プロジェクト会議	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0265-43-4656	事業費	2,970,000円
		支援金額	2,376,000円